

立入検査において指摘が多かった項目や特に注意が必要な項目について、以下のとおり留意事項を掲載いたしますので、今後の施設運営において御留意ください。

指摘が多かった項目

	項目	留意事項
施設運営	非常災害対策	避難訓練について、机上訓練のみ実施している例が見受けられたため、全職員が実践的な対応能力を養うとともに、子ども自身も災害発生時に取るべき行動や態度を身に付けられるよう、実際の行動を伴う避難訓練を毎月1回以上実施してください（不審者対応訓練とは別に実施してください。）。 また、消火訓練についても、毎月1回以上実施してください。
	帳簿整備	家庭的保育者又は管理者の勤務実績の適正な把握の観点から、家庭的保育者又は管理者の出勤簿を整備してください。
		職員、財産、収支及び入所している者の処遇の状況を明らかにする帳簿の整備状況が、不備・不足している例が見受けられたため、適正に整備し保管してください。 ※不備・不足が見受けられた例は以下のとおりです。 ・出勤簿 →記載誤りや記載漏れのないように記録してください。 ・職員雇用時の書類（雇用契約書、誓約書、資格証等）や健康診断結果 →書類に不足が見受けられたため、適正に保管してください。 ・保育等に関する記録 →「予防接種状況」・「感染症等の罹患状況」等の記録が入所時の記録のままであったり、最新の情報でないものが見受けられたため、定期的に保護者から報告を受け、適正に記録してください。 ・各書類共通 →記載事項（日付、担当者名等）の記載漏れのないよう作成してください。
		施設で整備している各種マニュアルや緊急連絡先一覧等に記載されている連絡先について、定期的にも内容を見直し、必要に応じて修正してください。
苦情対応	苦情受付簿、経過記録表、結果表等の様式を整備し、苦情対応について記録してください。	
処遇	食事の提供	検食については、「異常が感じられた場合に食事提供を中止するなどの措置がとれる時間」を確保した上で実施してください。 また、検食日時、検食者、結果（食味、食感、異常の有無等）について、漏れのないよう記録してください（土曜日の給食についても漏れなく記録してください。）。
	健康診断	利用乳幼児の健康診断及び歯科検診について、それぞれ1年に2回以上実施してください。 職員の雇用時には、労働安全衛生規則に定める健康診断を実施してください。 【雇用時の健康診断の省略について】 健康診断を受診後3か月を経過しない者を雇用する場合、その健康診断の結果を証明する書面の提出を受け、検査項目に相当する項目を省略することが認められます。 非正規職員で施設が実施する健康診断の対象者となっていない場合には、個別に受診した結果の写しを提出してもらうなど、健康状態の把握に努めてください。

	項目	留意事項
処遇	衛生管理	感染症及び食中毒が発生し、又はまん延しないように、感染症及び食中毒の予防及びまん延防止のための研修を定期的実施するよう努めてください。
		感染症の予防及びまん延防止のための訓練を定期的実施するよう努めてください。
	保育内容	保育所保育指針に準じて、全体的な計画を作成してください。また、毎年1回以上、全体的な計画を見直し、必要に応じて修正してください。
		一人一人の子どもの生育歴、心身の発達、活動の実態等に即した個別的な計画を作成してください。
	自己評価	保育士等は、保育の計画や保育の記録を通して、自らの保育実践について自己評価を行ってください。また、自己評価を通して、専門性の向上や保育実践の改善に努めてください。
		保育事業所は、保育の質の向上を図るため、保育の内容等について、自ら評価を行ってください。
	安全計画	利用乳幼児の安全の確保を図るため、以下の項目を盛り込んだ安全計画を策定してください。 (1) 安全点検 ・施設、設備の安全点検（散歩コース等を含む） ・マニュアルの策定・共有 (2) 利用乳幼児・保護者に対する安全指導等 ・利用乳幼児への安全指導 ・保護者への説明・共有 (3) 実践的な訓練や研修の実施 ・訓練や研修のテーマ、参加予定者 (4) 再発防止の徹底 ・ヒヤリハット事例の収集、分析及び対策
	自動車の運行	利用乳幼児の施設外での活動、取組等のための移動その他の利用乳幼児の移動のために自動車を運行する場合、利用乳幼児の乗車及び降車の際に、点呼その他の利用乳幼児の所在を確実に把握することができる方法により、児童の所在を確認してください。
事故発生時の対応	事故発生時に適切な救命処置が可能となるよう、定期的訓練を実施してください。	
連携施設	連携協力を行う保育所、幼稚園等の連携施設を適切に確保し、利用乳幼児に集団保育を経験させるための機会を設けてください。	